様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

御幸辻地区（第2期）

令和４年３月

和歌山県橋本市

様式２－１ 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県	市町村名	橋本市	地区名	御幸辻地区		面積	20ha
交付期間	平成28～32年度(令和2年度)	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	329.1	国費率	0.4	

1)事業の実施状況			事業名		
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	(公園)(仮称)やすらぎ広場 (高次都市施設)(仮称)橋本市観光交流センター (既存建造物活用事業)体験交流施設(松林荘)		
		提案事業	(事業活用調査)事業効果分析		
			事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
	当初計画から削除した事業	基幹事業	(高次都市施設)(仮称)橋本市観光交流センター (既存建造物活用事業)体験交流施設(松林荘)	ソフト事業(イベント等)の実施に関する調査の結果、屋外イベント等を実施することで、ハード事業と同等またはそれ以上の効果が得られると判明したため、事業を削除。	ソフト事業(イベント等)の充実を図るため、指標を「イベント開催数」に変更。
		提案事業			
	新たに追加した事業	基幹事業	(高質空間形成施設)(仮称)多目的トイレ、(地域生活基盤施設)情報案内板	来訪者の利便性・快適性を向上させるため、(仮称)多目的トイレを追加。地域の観光交流促進を目的とし、情報案内板を追加。	「イベント開催数」および「公園の来園者数」で対応。目標値を変更するほどの影響はない。
		提案事業	(地域創造支援事業)イベント促進事業	ソフト事業(イベント等)の実施に関する調査の結果、屋外イベント等を実施することで、ハード事業と同等またはそれ以上の効果が得られると判明したため、事業を追加。	ソフト事業(イベント等)の充実を図るため、指標を「イベント開催数」に変更。
	交付期間の変更	当 初	平成28～32年度(令和2年度)	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし
		変 更	平成28～32年度(令和2年度)		

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地区内におけるイベント開催数	回/年	3	H27	7	R2		9	○	あり		杉村やすらぎ広場の整備およびイベント促進事業等により、イベント開催数は着実に増加した。特に、杉村やすらぎ広場や駐車場を起点とした杉村公園のイベント利用が多く、同施設整備がイベント開催数の増加に寄与している。	R5年4月
											なし			
	指標2	公園の来園者数	人/日	149	H27	290	R2		219	△	あり	○	公園利用者の利便性を高める情報案内板整備等により利用者の増加は実現したが、目標値達成には至らなかった。 コロナ禍の影響が大きいと予想される中で、杉村やすらぎ広場整備による利用者数の増加は着実に発現しており、杉村公園との相互利用が期待される。	R4年10月
											なし			
	指標3										あり			
											なし			
	指標4										あり			
											なし			

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	公園・広場の利用者数	人/日	149	H27				402			杉村公園および杉村やすらぎ広場の利用者数は着実に増加している。特に、杉村やすらぎ広場整備による利用者数の増加が顕著であり、多目的トイレ整備を含む同施設整備が利用者数の増加に寄与したといえる。	R4年10月
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												

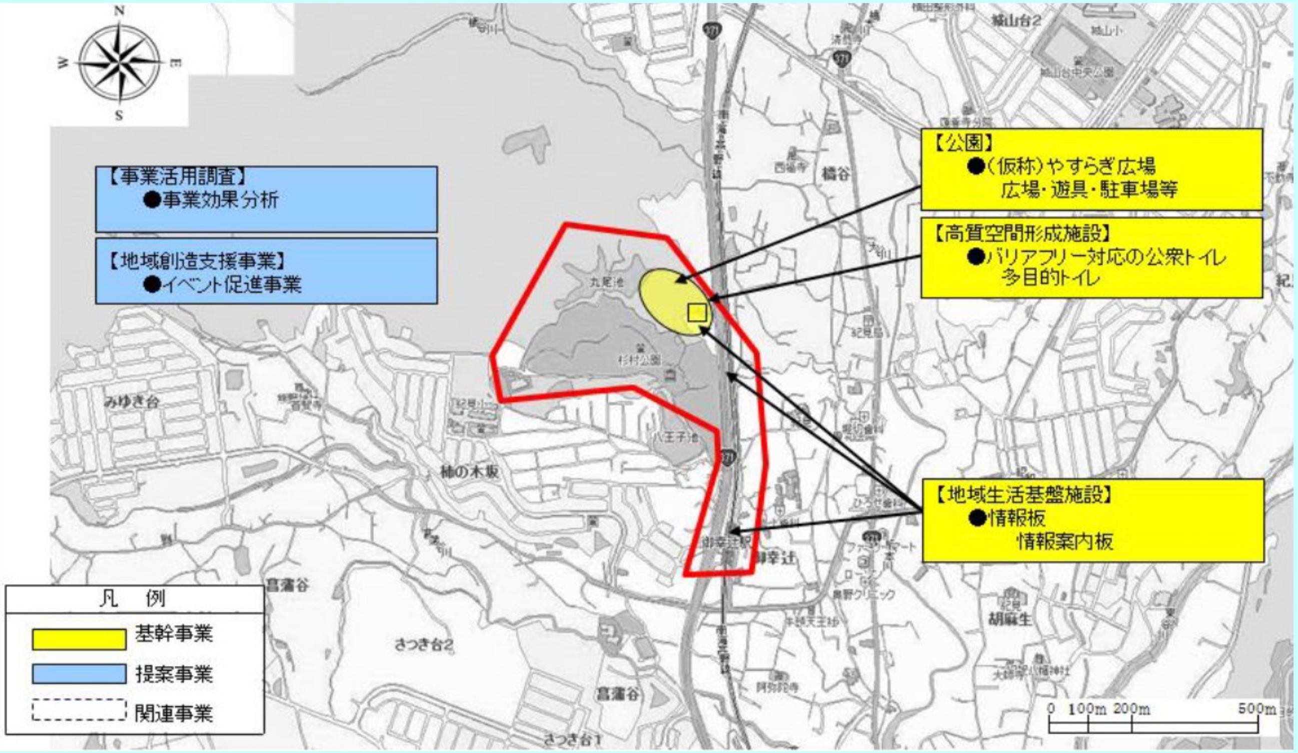
4)定性的な効果発現状況	

5)実施過程の評価		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	事業管理のための進捗状況確認及び事業内容について再検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた		コロナ禍の状況をみながら、事業効果のモニタリングを適宜実施
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

御幸辻地区（和歌山県橋本市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標　公園を活用した安全で活力あるまちづくりの実現 目標1　市民と観光の交流に対応した活力ある地域づくり 目標2　市民が誇りに持てる安全で便利な公園づくり	地区内におけるイベント開催数	回/年	3	H27	7	R2	9	R3
	公園の来園者数	人/日	149	H27	290	R2	219	R3
	公園・広場の利用者数	人/日	149	H27	－	－	402	R3



杉村やすらぎ広場(駐車場)

多目的トイレ

杉村やすらぎ広場

情報案内板（御幸辻駅前広場）

情報案内板（杉村やすらぎ広場）

まちの課題の変化	・地区内の案内板設置やイベント促進事業等の実施により、交流活動は着実に増加した。（コロナ禍による影響に対応する必要がある。） ・杉村やすらぎ広場および同駐車場の整備により、杉村公園・杉村やすらぎ広場が一体となった利用促進が実現した。（コロナ禍による影響に対応する必要がある。）
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	○交流イベント等の維持・充実（既存イベント等の維持・充実と新たなイベント等の開催促進）【交流イベント等の開催支援】 ○公園・広場の利用者数の維持・増加（整備済み施設の適切な維持管理による利便性の維持・向上）【公園・広場の維持管理・情報案内板の維持管理】 ○コロナ禍の影響に対応したイベント開催および公園・広場の利用促進（屋外空間である公園・広場のメリットを活かしたコロナ禍に対応した活用方法の検討）【日常の健康増進の支援（密を避けた利用誘導）、密を避けた屋外型イベント等の企画・運営支援、オンラインを活用した自然観察会などの企画・運営支援】